

科目名(Subject)	マクロ経済学Ⅰ (Macroeconomics I)		
単位数(Credits)	2単位	開講時期	前期
担当教員名 (Name)	水島 淳恵 (Atsue Mizushima)	研究室番号 (Office)	439
Office Hours	開講時に連絡		
<p>1. 授業目的・方法(Course objective and method) 「マクロ経済学Ⅰ」（前期開講）と「マクロ経済学Ⅱ」（後期開講）を合わせた年間の授業を通じて、大学院基本科目レベルのマクロ経済学として標準的に提供される内容を網羅する目的で講義を行う。</p> <p>2. 達成目標(Course Goals) 大学院基本科目レベルのマクロ経済学として標準的に提供される動学分析を理解する。</p> <p>3. 授業内容(Course contents) 第1回.オリエンテーション 第2回～第8回. ・マクロ経済モデルの座標軸 ・合理的期待形成と新古典派成長モデル ・資産価格決定理論と代表的個人 第9回～第14回. ・景気循環と経済成長 ・貨幣的景気循環：古典派とケインジアン ・経済政策の理論：新古典派政策命題の可能性 第15回.全体のまとめ</p> <p>4. 事前学修・事後学修(Preparation and review) 事前学修 講義該当箇所の教科書を読んでおくこと。 事後学修 関連する論文を読み、応用の知識を習得すること。</p> <p>5. 使用教材(Teaching materials) 教科書 “Lectures on Macroeconomics” Blanchard and Fisher, The MIT Press 参考書 「新しいマクロ経済学」 斎藤誠 有斐閣 “Economic Growth” Barro and Sala-i-Martin, The MIT Press “Introduction to Modern Economic Growth” Acemoglu, Princeton University Press “Advanced Macroeconomics” Romer, McGraw-Hill</p> <p>6. 成績評価の方法(Grading) 期末試験、課題</p> <p>7. 成績評価の基準(Grading Criteria) 「経済学コース成績評価統一基準」を参照のこと。</p> <p>8. 履修上の注意事項(Remarks)</p>			

学部の「ミクロ経済学」知識を有していること。

大学院「ミクロ経済学Ⅰ」「ミクロ経済学Ⅱ」「経済数学」「マクロ経済学Ⅰ」をあわせて受講することが望ましい。